

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公開番号】特開2014-206265(P2014-206265A)

【公開日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-17850(P2014-17850)

【国際特許分類】

F 16 H 1/32 (2006.01)

F 16 J 15/18 (2006.01)

H 02 K 7/116 (2006.01)

【F I】

F 16 H 1/32 B

F 16 J 15/18 C

H 02 K 7/116

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

装置ハウジング(31)と、

前記軸受(35)の前記内輪(35b)に形成した内輪中心貫通穴(35f)と、
を有し、

前記剛性内歯歯車(32)は前記装置ハウジング(31)の内周部に固定され、

前記可撓性外歯歯車(33)は前記剛性内歯歯車(32)の内側に配置され、前記軸受(35)を介して回転自在の状態で、前記装置ハウジングに支持され、

前記波動発生器は前記可撓性外歯歯車(33)の内側に配置され、

前記可撓性外歯歯車(33)の前記ボス(33c)は、前記内輪の前記内輪中心貫通穴(35f)に装着されて、当該ボス(33c)の端面が、内輪中心貫通穴(35f)を介して装置軸線方向(1a)において外側に露出しており、

前記第1溶接部(38)は、前記内輪(35b)の内周面と前記ボス(33c)の外周面の間には、前記ボス(33c)の前記端面(33e)の側の部位に、全周に亘って形成されている、

請求項1または2に記載の波動歯車装置(3、3A、3B)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記中空モータ軸(22)の中空部、前記ボス(33c)の中空部および前記波動発生器(34)の中空部を貫通してアクチュエータ前端面(1c)からアクチュエータ後端面(1b)まで延びるスリーブ(41)を有し、

前記スリーブ(41)の内周面によって、アクチュエータ前端およびアクチュエータ後端に開口しているアクチュエータ中空部(41a)が形成され、

前記スリーブ（41）における前記アクチュエータ前端の側に露出している前端部（41b）の外周面と前記ボス（33c）の内周面の間には、全周に亘って第2レーザー溶接部（42）が形成され、

前記第2レーザー溶接部によって、前記スリーブの前記前端部（41b）が前記ボス（33c）に固定され、

前記第2レーザー溶接部によって、前記前端部（41b）の外周面と前記ボス（33c）の内周面の間が、液密状態に封止されている、

請求項5に記載の中空型回転アクチュエータ（1、1A、1B）。